

平成 25 年 5 月 17 日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社
 (コード番号 3843:東証マザーズ)
 本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
 代 表 者 代表取締役社長 石田 宏樹
 問 合 せ 先 グループ経営管理本部長 清水 高
 電 話 番 号 03-5459-0522(代表)
 (URL <http://www.freebit.com/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 6 月 14 日に公表しました平成 25 年 4 月期(平成 24 年 5 月 1 日～平成 25 年 4 月 30 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値の修正(平成 24 年 5 月 1 日～平成 25 年 4 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	1,800	1,500	600	30.49
今回予想(B)	20,850	1,065	740	25	1.27
増減額 (B-A)	△2,150	△735	△760	△575	—
増減率 (%)	△9.3%	△40.8%	△50.7%	△95.8%	—
〔ご参考〕前年同期実績 (平成 24 年 4 月期)	21,180	903	1,027	244	12.34

(注) 当社は、平成 24 年 5 月 1 日付で普通株式 1 株につき 400 株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前回発表予想、今回実績及び前年同期実績の 1 株当たり当期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

2. 修正の理由

平成 25 年 4 月期(以下、「当期」)は、中期経営計画「SiLK VISION 2013」の最終年度としての目標達成及び 3 月 8 日に発表いたしました新中期経営計画「SiLK VISION 2016」(以下、「SiLK VISION 2016」)の橋渡しの期として、その礎となる各種先行施策を当第 4 四半期連結会計期間(以下、「当第 4 四半期」)に集中して実施いたしました結果、前回発表の予想値を下回る見込みとなりました。主な要因は以下のとおりとなります。

①モバイル戦略における施策の前倒し実行による先行費用発生

モバイル市場の動きが期初想定よりも大規模かつ急激であることが把握できたことから、「SiLK VISION 2016」で予定していた項目を全て前倒しで実行いたしました。その結果、当社の事業レイヤーを垂直統合したスマートフォン向けサービスの先行開発費用及びモバイル戦略の転換、それに伴う固定網の成長鈍化を想定した基幹網の大規模な再構築(今後 3 年間で約 1,500 百万円のコスト削減を見込む)を前倒しで実施したことによる工事費が先行費用として発生いたしました。また、想定していた MVNO のコスト削減においても当期内での適応に至りませんでした。平成 26 年 4 月期以降には想定コストにリーチし、約 60%の削減を見込んでおります。

②既存事業での新規施策及び戦略転換における計画差異

クラウドコンピューティングインフラにおいては、コンプガチャ等の影響により当期 7 月の開始を予定していた大規模 VDC の一部案件が期ずれし、新規受注量についても予定の 60%に留まる結果となりました。アドテクノロジーインフラにおいては、連絡子会社である株式会社ベッコアメ・インターネットの EC 事業の転換を図り、不採算店舗の整理と

高粗利の ASP サービスへのシフトを行ったことにより、売上減少と店舗整理に伴う一次費用が発生いたしました。また、連結子会社の株式会社フルスピード（以下、「フルスピード」）においては、アドテクノロジー領域への戦略を企図した新規サービスの提供開始に遅れが発生いたしましたが、DSP（Demand Side Platform）や第三者配信サーバーでの広告配信システムの開発は計画通り進み、平成 26 年 4 月期以降はフルラインのアドテクノロジーサービス提供が可能となることから、成長加速を見込んでおります。さらに、ブロードバンドインフラにおいては、連結子会社である株式会社ギガプライズのマンション ISP において受注数の乖離と建設工期完了期ずれ等が発生したことによる差異が発生いたしましたが、導入戸数は順調に伸長していることから平成 26 年 4 月期以降は大きく利益に貢献する見通しです。

③ 「SiLK VISION 2016」の新規事業の前倒し実施

「SiLK VISION 2016」の新規事業であるセンサー医療領域、MVNO 領域における事業準備を当第 4 四半期より開始し、人材採用及びテストマーケティング等を実施したことによる先行コストが発生いたしましたが、これらは「SiLK VISION 2016」の目標達成への確度を高め、来期以降の利益貢献を確実にするための先行施策であります。

なお、当期純利益につきましては、平成 24 年 12 月に公表済みである当第 2 四半期連結会計期間においてフルスピードの元連結子会社である旧ギルドコーポレーション株式会社に対する貸付債権及び連帯債務保証損失の引当金計上による特別損失を計上いたしました。

以上の要因を踏まえ、平成 25 年 4 月期連結業績予想値の修正を行うものであります。

詳細は、添付の「業績予想の修正に関する補足説明資料」をご参照ください。

また、弊社 HP (<http://www.freebit.com/>) にて本件についての説明動画を公開いたします。

※上記予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

以 上

2013年4月期 業績予想の修正に関する補足説明資料



Being The NET Frontier!

2013年5月17日
フリービット株式会社

(注意事項)

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。

本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

2013年4月期 基本方針

	基本方針	結果/進捗状況
ブロードバンド インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ●固定網からクラウド/モバイル(MVNO)へシフトを開始 →年度末で固定/クラウド+モバイルのユーザ数を同数まで成長させる ●マンションインターネット分野の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ●2013年4月末時点において、固定網ユーザ約100万人、クラウド+モバイルユーザ約115万人と、固定網ユーザ数を超過 [達成] ●約65,000戸へサービス提供(前期比+19.8%)[達成]
クラウド コンピューティング インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ●フリービットクラウドのラインアップの強化 ●SiLK NOCと共同でMSP(マネージドサービス)の立上げ ●継続的なサーバ/ネットワークコスト削減による利益率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●Cloud BackUPとCloud Disk ローカルバックアップをリリース。OEM提供スタート。→PaaS分野へ進出。 ●継続的なコスト削減を実施し、10~30%のコスト削減を実現
アドテクノロジー インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ●独自テクノロジーに基づくプラットフォーム戦略をベースに様々なサービスを提供予定 ●中国進出によって上海オフィスを設立し、年度末までに営業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネット広告運用最適化統合プラットフォーム「AdMatrix」をリリース ●8月に中国(上海)現地オフィスを設立し、当初計画を前倒しで営業開始し、10月には初受注を達成[達成]
次世代 インターネット・ ユビキタスインフラ	<ul style="list-style-type: none"> ●M2M領域をCloud@SDを中心としたソリューション展開を日中で行う ●ServersManシリーズライセンスのOEMセールス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の医療機器メーカーNewtech社とSmart Cloudが事業提携し、Cloud@SDの提供を開始 ●ServersMan@CASのライセンスをロジテックINAソリューションズに提供 ●Cloud Disk ローカルバック用ディスクシステムをaigoと共同開発
B2C (DTI)	<ul style="list-style-type: none"> ●固定網からクラウド/モバイル(MVNO)へシフトを開始 ●唐津/無錫を利用したBPO推進による効率化 ●aigoハードウェアとネットワークを組み合わせた商品のリリース →ユビキタスプロバイダとしての地位を確立する 	<ul style="list-style-type: none"> ●ServersMan SIM 3G 100を提供開始し、固定網からモバイルへの急激なシフトが進む[達成] ●BPOによる効率化は今期より本格的に開始[遅れ] ●100k SIMと端末を組み合わせ提供する DTI telecom をリリース

連結通期業績予想数値

(単位:百万円)

	12/04期 実績	13/04期 今回予想	前年 同期比	13/04期 期初予想	対期初 予想差異	対期初 予想比
売上高	21,180	20,850	△1.5%	23,000	△2,150	△9.3%
				MVNOハード販売戦略転換(2Q,3Qで説明済)		
EBITDA	2,120	2,270	+7.1%	—	—	—
営業利益	903	1,065	+17.9%	1,800	△735	△40.8%
				MVNO急増にコスト削減が4Q間に合わず。		
経常利益	1,027	740	△27.9%	1,500	△760	△50.7%
				負のれん減少により前期に対し約3億円マイナス		
当期純利益	244	25	△89.8%	600	△575	△95.8%
				旧ギルド貸倒れ引当金計上による特別損失370百万円発生		
一株純利益(円)	12.34	1.27	△89.8%	—	—	—

営業利益差異の内訳

ブロードバンド インフラ	モバイル戦略の前倒し実行	2.2億	4 Q 事 象
	固定網のNW大規模再構築の前倒し	0.5億	
ブロードバンドインフラ 次世代インターネット・ ユビキタスインフラ	中期経営計画での新規事業開始準備	0.3億	
クラウド コンピューティング インフラ	大規模VDC案件の期ずれと受注未達	1.5億	
アドテクノロジー インフラ	アドテクノロジーインフラの事業計画差異	2.4億	
ブロードバンド インフラ	子会社マンションインターネットの 事業計画差異	0.5億	

営業利益差異の内訳

ブロードバンド インフラ	モバイル戦略の前倒し実行	2.2億	4 Q 事 象
	固定網のNW大規模再構築の前倒し	0.5億	
ブロードバンドインフラ 次世代インターネット・ ユビキタスインフラ	中期経営計画での新規事業開始準備	0.3億	
クラウド コンピューティング インフラ	大規模VDC案件の期ずれと受注未達	1.5億	
アドテクノロジー インフラ	アドテクノロジーインフラの事業計画差異	2.4億	
ブロードバンド インフラ	子会社マンションインターネットの 事業計画差異	0.5億	4Q 事 象

Copyright © 2013 FreeBit Co.,Ltd. All rights reserved.

5

モバイル戦略転換について

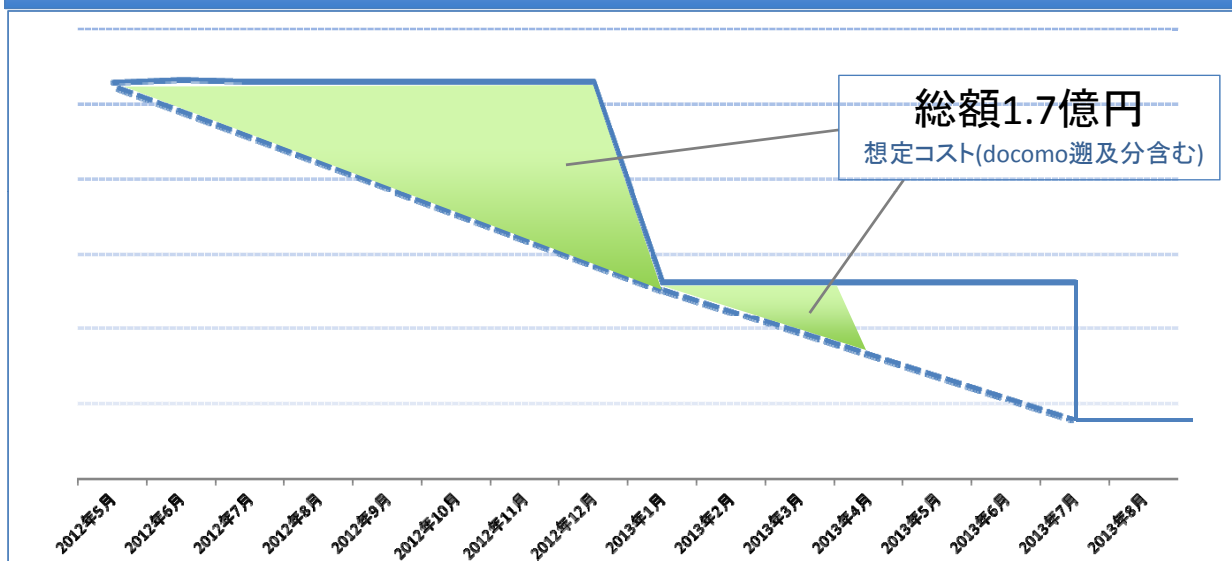


Copyright © 2013 FreeBit Co.,Ltd. All rights reserved.

6

MVNOコスト削減の遅れ

帯域単価イメージ



2013年4月期内では、急成長の為に想定したコストダウンが期内で追いつかず。
2014年4月期においては、想定コストにリーチし、約60%まで下がる見通し。
(4Qにおいて、遡及分も含めての交渉を継続したが、期内での実行は断念)

スマートフォン向け垂直統合サービスの前倒し開発 (前倒し分コスト 0.5億)



ServersMan 050

バッテリー消費ゼロモードを搭載。速度制限のある環境(100Kbp)でも安定的な音声品質を実現するマルチレイヤクオリティコントロール技術を搭載。オリジナルUX「SiLK Experience」の採用により、ユーザーにとっての使いやすさとシンプルなデザインを追求。(Cloud VoIPをベースにDTIが開発)



Cloud Disk

OEM版10GBの大容量クラウドストレージ。Webブラウザからのアクセスはもちろん、iPhone、iPad、Android、Windows、(Mac)やSDカード等のマルチデバイスに対応。ハイブリッドな2種類のSync(同期)機能や、アクセスチケットによるきめ細やかなファイル共有が可能。



Cloud Contact

電話番号やメールアドレスなどをクラウドに保管しておけるクラウド電話帳サービス。



CloudMail

Imap4に標準対応しパソコンや携帯電話、スマートフォンなどからメールのチェックを簡単に行うことができる。多重に冗長化されており、安全。

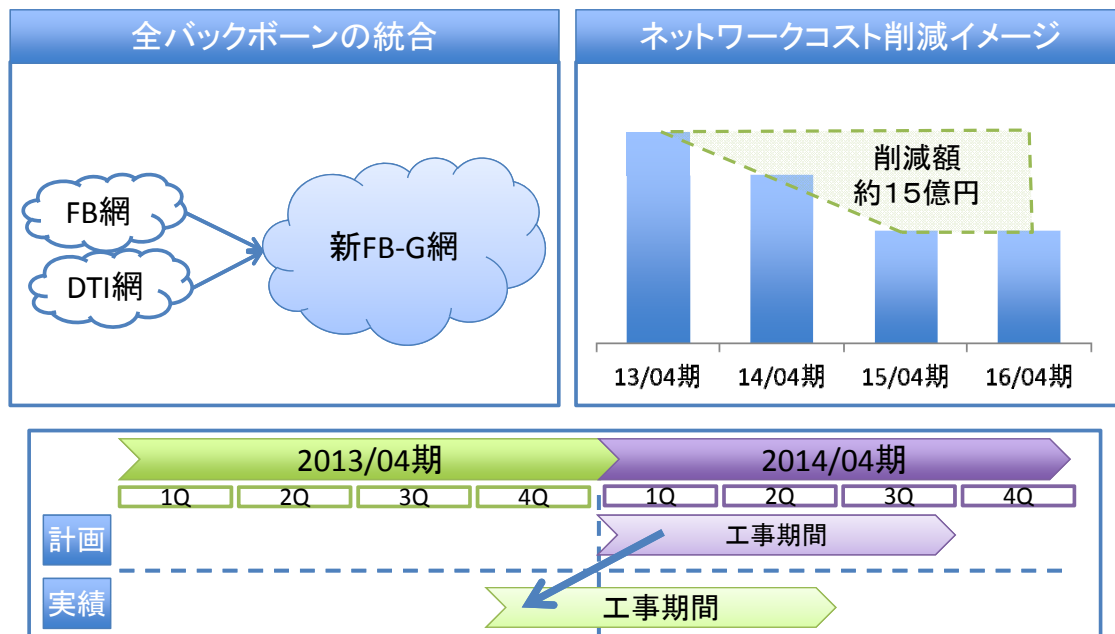
営業利益差異の内訳

ブロードバンド インフラ	モバイル戦略の前倒し実行	2.2億	4Q 事象
	固定網のNW大規模再構築の前倒し	0.5億	
ブロードバンドインフラ 次世代インターネット・ ユビキタスインフラ	中期経営計画での新規事業開始準備	0.3億	
クラウド コンピューティング インフラ	大規模VDC案件の期ずれと受注未達	1.5億	
アドテクノロジー インフラ	アドテクノロジーインフラの事業計画差異	2.4億	
ブロードバンド インフラ	子会社マンションインターネットの 事業計画差異	0.5億	4Q 事象

Copyright © 2013 FreeBit Co.,Ltd. All rights reserved.

9

固定網のNW大規模再構築



NW再構築の着手を13/04期4Qから前倒して実施し、約0.5億円の工事費が先行発生。
 SILK VISION2016 期間中で総額約15億円のコスト削減を想定。
 SILK VISION 2016期間においてのモバイル革命と固定網の減少予想に対応。

Copyright © 2013 FreeBit Co.,Ltd. All rights reserved.

10

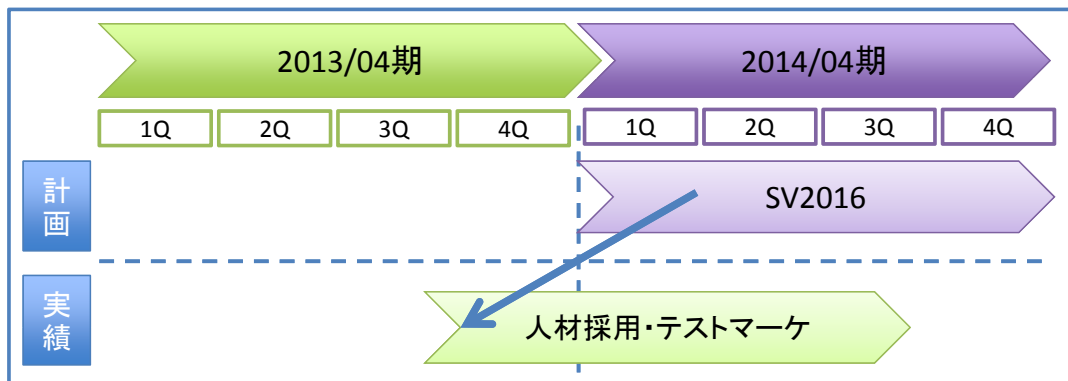
営業利益差異の内訳

ブロードバンド インフラ	モバイル戦略の前倒し実行	2.2億	4 Q 事 象
	固定網のNW大規模再構築の前倒し	0.5億	
ブロードバンドインフラ 次世代インターネット・ ユビキタスインフラ	中期経営計画での新規事業開始準備	0.3億	
クラウド コンピューティング インフラ	大規模VDC案件の期ずれと受注未達	1.5億	
アドテクノロジー インフラ	アドテクノロジーインフラの事業計画差異	2.4億	
ブロードバンド インフラ	子会社マンションインターネットの 事業計画差異	0.5億	4Q 事 象

Copyright © 2013 FreeBit Co.,Ltd. All rights reserved.

11

中期経営計画での新規事業開始準備



人材採用とテストマーケを3Qから前倒しで開始し、0.3億円先行コスト発生。
詳細は、6月に発表予定。

Copyright © 2013 FreeBit Co.,Ltd. All rights reserved.

12

事例

センサー医療システムの開発



行政との大規模実証実験の準備



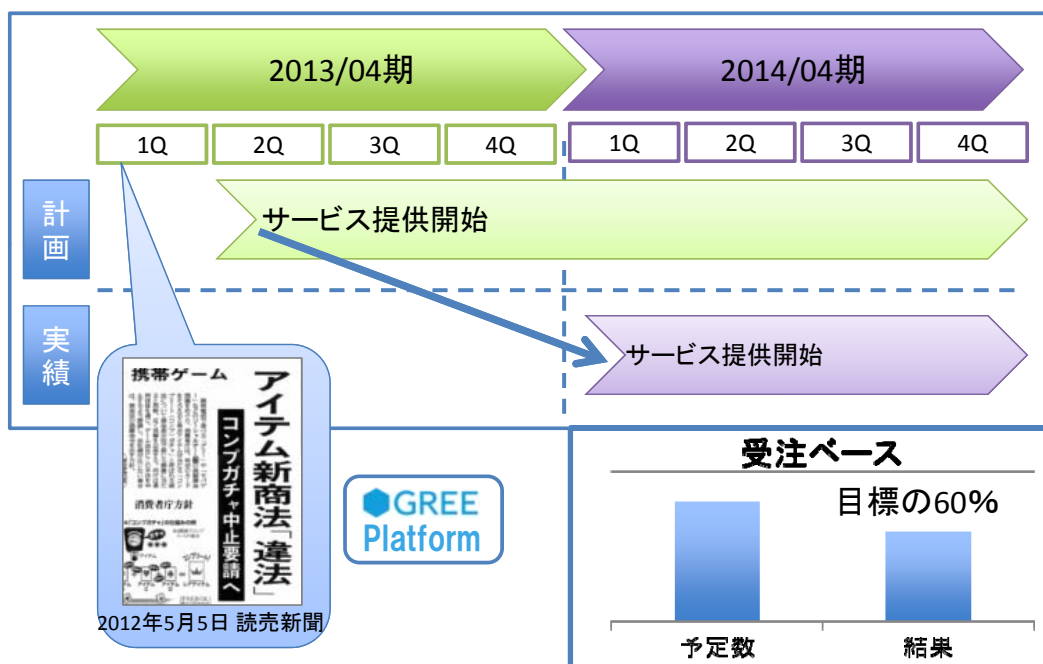
大規模MVNO事業の構築



営業利益差異の内訳

ブロードバンド インフラ	モバイル戦略の前倒し実行	2.2億	4Q 事象
	固定網のNW大規模再構築の前倒し	0.5億	
ブロードバンドインフラ 次世代インターネット・ ユビキタスインフラ	中期経営計画での新規事業開始準備	0.3億	
クラウド コンピューティング インフラ	大規模VDC案件の期ずれと受注未達	1.5億	
アドテクノロジー インフラ	アドテクノロジーインフラの事業計画差異	2.4億	
ブロードバンド インフラ	子会社マンションインターネットの 事業計画差異	0.5億	4Q 事象

大規模VDC案件の期ずれ



コンパガチャ等の影響により、大規模Cloud案件の開始遅れ(3Q→FY14/1Q)が発生。また新規受注量も予算の60%に留まる。
 →IaaSだけでなく、MCIによるPaaS/SaaS分野の展開を急ぐ必要あり。

営業利益差異の内訳

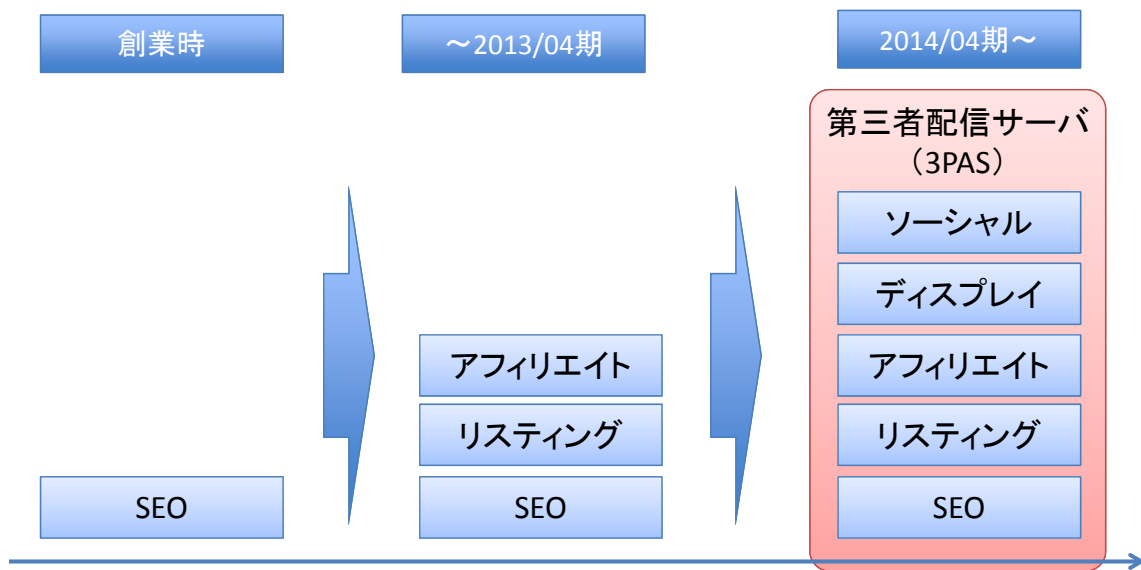
ブロードバンド インフラ	モバイル戦略の前倒し実行	2.2億	4Q 事象
	固定網のNW大規模再構築の前倒し	0.5億	
ブロードバンドインフラ 次世代インターネット・ ユビキタスインフラ	中期経営計画での新規事業開始準備	0.3億	
クラウド コンピューティング インフラ	大規模VDC案件の期ずれと受注未達	1.5億	
アドテクノロジー インフラ	アドテクノロジーインフラの事業計画差異	2.4億	
ブロードバンド インフラ	子会社マンションインターネットの 事業計画差異	0.5億	4Q 事象

アドテクノロジーインフラの事業計画差異

	差異理由	計画差異 (百万円)
1	アドテクノロジーサービスの新規事業開始準備	△100
2	アドテクノロジー関連サービスの期ずれ	△40
3	EC事業の事業転換	△100

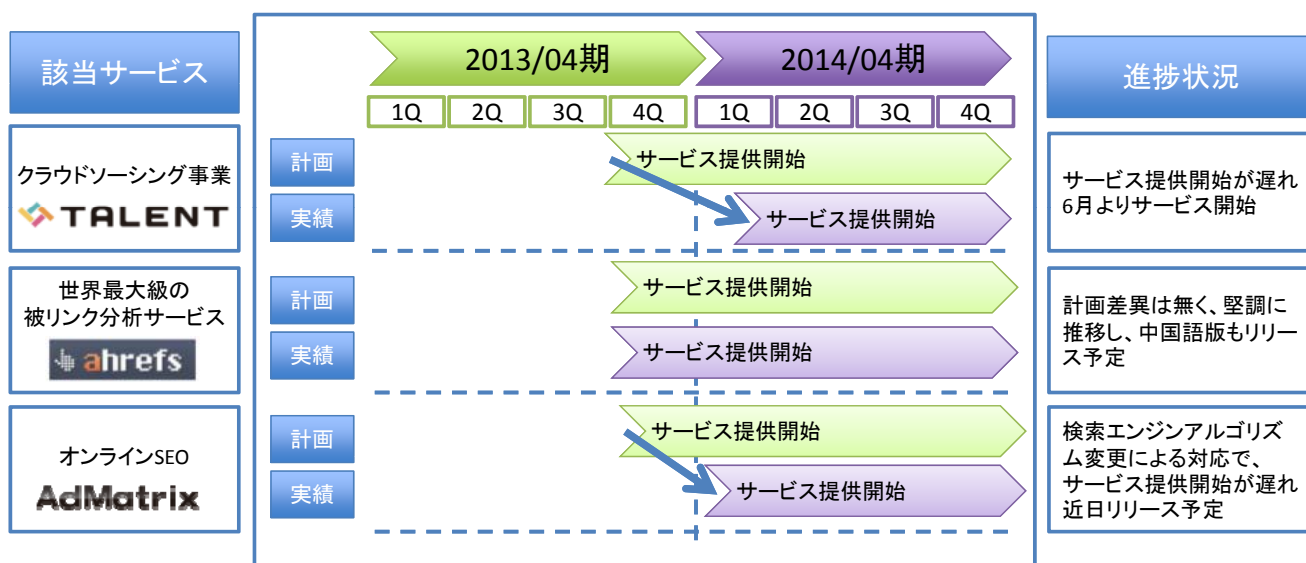
上記により2.4億円の計画差異が発生

アドテクノロジーインフラの現在地



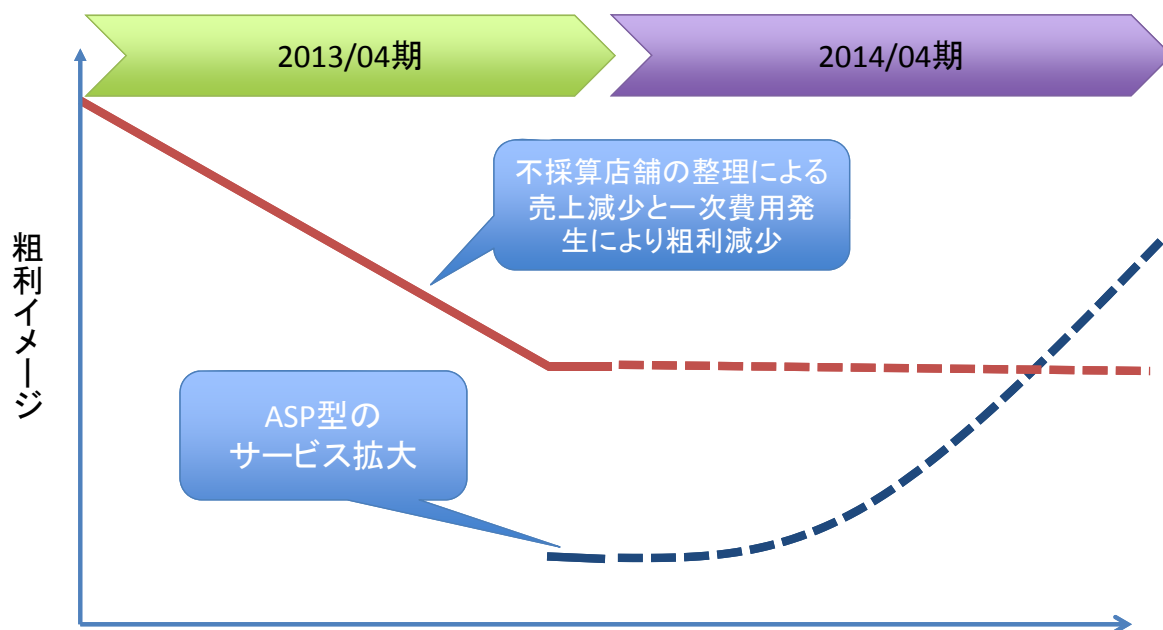
前期はアドテクサービスの開発過程にあり既存サービスの販売のみで
過当競争により売上未達(△1億円)。
今期はフルライン揃えた稀有な存在となり成長加速

アドテクノロジー関連サービス進捗状況



上記遅れ等により、アドテクノロジー関連サービスにおいて約0.4億円の計画差異が発生するが、順次サービス提供開始しており、堅調に推移している。

EC事業の事業転換



2013年4月期は、不採算EC店舗を整理し粗利率の高いASP型サービスへシフト。店舗整理による売上減少と整理に伴う一次費用発生により粗利減少。2014年4月期以降、ASP型サービスの稼働により粗利の増加を見込む

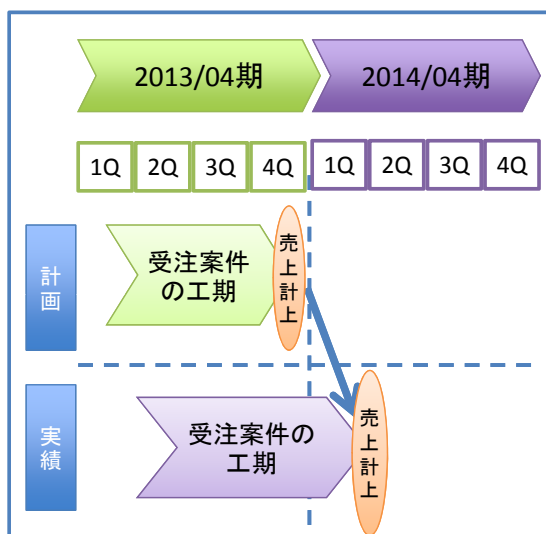
営業利益差異の内訳

ブロードバンド インフラ	モバイル戦略の前倒し実行	2.2億	4 Q 事 象
	固定網のNW大規模再構築の前倒し	0.5億	
ブロードバンドインフラ 次世代インターネット・ ユビキタスインフラ	中期経営計画での新規事業開始準備	0.3億	
クラウド コンピューティング インフラ	大規模VDC案件の期ずれと受注未達	1.5億	
アドテクノロジー インフラ	アドテクノロジーインフラの事業計画差異	2.4億	
ブロードバンド インフラ	子会社マンションインターネットの 事業計画差異	0.5億	4Q 事 象

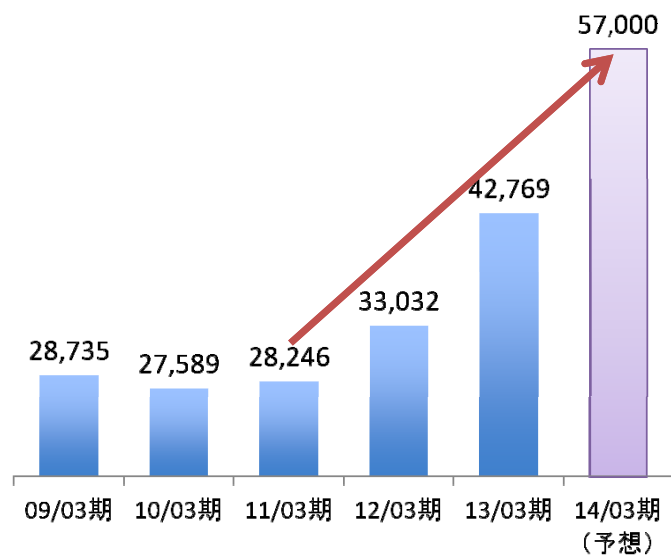
Copyright © 2013 FreeBit Co.,Ltd. All rights reserved.

21

子会社マンションインターネット事業計画差異



マンションISP導入数



子会社のマンションインターネット事業において、予定受注数との乖離の発生および受注案件の期末工期ずれが発生した結果約0.5億円の差異が発生したが、前期内に積み上げた回線数が今期業績に大きく貢献する見通し

Copyright © 2013 FreeBit Co.,Ltd. All rights reserved.

22

差異発生の原因

根本原因	結果	「SiLK VISION2016」への打ち手
2年をかけて開発してきた、経営管理システムのインストールと稼働が約半年遅れる。	営業目標設定(特にクラウドサービスの進捗が遅れが生じ、新規施策への攻めのリソースも大幅に低下した為に、ゲーム業界等の市場変化への対応が遅れた。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部署CIO室(Chief Installation Officer)を設置しFY13内に徹底したインストールとKPI化を完了。 ・営業の管理システムを既に稼働。 ・先行指標ベースで動くための組織再編実施済
モバイルビジネスモデル転換時期判断の遅れ(結果前倒しを期内に判断し利益差異を生む)	低リスクだが付加価値の少ない代理店モデルビジネスは過当競争により全く立ち上がらず。固定網に関してはFTTHにおいても減少が発生。	期内で特許技術を活かすことができる、低価格SIMへの戦略変更を実施。8月にDTIでスタート、独自性のあるサービスの提供により利益目標達成。固定網からのシフトも急ぐ。固定網全体の再構築にも着手。減少に備える。
システム障害の発生	クラウド、MVNOのユーザー急増に対して対応出来ない部分が発生。対応に技術、営業リソースが必要となる。また、一部レギュレーション問題も発生。解消に時間が発生。	全社目標を「顧客志向」に徹底。さらに、サービスの無停止化を実現するため、全システムのアーキテクチャーを統一して管理する技術統括室を新設し大きな権限を付与。
MVNOのコスト削減の遅れ	モバイル戦略転換によって、ユーザーが急増。新規ユーザーへの対応で、1Mbpsあたりのコスト削減が遅れが発生。合計、1.7億円の差異が発生。	垂直統合型の運営に向けトップスピードで準備中。
アドテクノロジー領域への戦略転換の遅れ	SEOへの高依存度からの脱却を目指すための新規サービスの開発・立上計画が遅れが生じた	DSP、3PAS等、アドテクノロジー領域の新規サービスの投入と本格営業開始により、SEO依存からの脱却を目指す

SiLK VISION 2010～2016

(単位: 百万円)

